

コンパクトなまちづくりを

議会が **もっと** / 近くなる

市民の声



加藤慎一・桂さん
(吉田日之出町)

「吉田駅の待合や近所の方々の集いの場に」とオープンし、4年がたちます。開業以来、お客様に支えられて、夫婦2人でマイペースでやっています。

燕市はとても住みやすいところですが、駅前や商店街は少し寂しいですね。これからは、できるだけ車で移動しなくても生活できるコンパクトなまちづくりを目指し、環境整備をしてもらえたらいいですね。



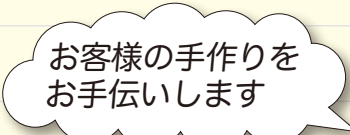
ニーズに合わせ
地元密着

本間正明さん (吉田旭町)

創業38年、父の代からここで店を営んでいます。今は人もまばらで、かつての賑わいを懐かしく感じます。

繁盛期の夏場に合わせて業者の研修会に参加していますが、量販店の価格では競争にならないので、お客様のニーズに合わせて対応しています。

店舗と住居が別々になっている方も多く、安全面での不安もありましたが、街灯のLED化に合わせて防犯カメラが設置され喜ばれています。



お客様の手作りを
お手伝いします

速水美雪さん
本間洋子さん (吉田旭町)

母が手芸品の販売や編み物を教える店を開業して47年になります。私は卒業してすぐに家業に就きました。現在は弟のお嫁さんと2人で店をやっています。

昔は花嫁修業の一つとして生徒さんも多かったんです。学校の家庭科の授業で使う教材もたくさん販売しました。かつての街の賑わいと比べると、寂しさを感じますが、頑張っていきたいと思っています。



配達サービスが
喜ばれています

長谷川正史・秀子さん
(吉田旭町)

やどかりハウスの場所を借り、野菜の直売を始めて8年目になります。農協で40年勤めていましたから、そのときの人脈で生産者から直に仕入れています。店は1・6の市日と重なったときは日曜も開けています。まちなかに八百屋が少ないので、高齢者向けの配達サービスを無料で行っていますが、とても喜ばれています。

ノートブックで関心があるのは一般質問ですが、短い文章なので内容が分からないことも多いのが残念です。



もっと賑わいの
ある街中に

斎藤一良さん (吉田上町)

明治の初期から店を営んで私で6代目です。「嘉平」という店の名前は初代の名前です。この辺もお店が少なくなったので、買い物に不自由を感じておられる方から重宝がられています。年の瀬などが特に忙しいんです。遺伝子組み換え大豆は私の店では使っていません。

ノートブックはよく読んでいます。もっと街中を賑やかにしてほしいですし、ツバメルシェはいい企画ですね。

今回は、嘉平豆腐店、ラテコーヒー、みゆき、野彩、ホンマデンキのみなさんにご協力いただきました。

編集後記

ノートブックの作成では日ごろの議会活動を通じ、より多くの情報を市民の皆さんに分かりやすくお伝えしたいという気持ちで紙面を作成していますが、限られた文字数の中で、どれくらいのことを伝えられたのかと、いつも悩んで編集作業に取り組んでいます。今後も、ノートブックをお楽しみに。

白井文雄

【議会報等特別委員会】

委員長：渡邊雄三 副委員長：長井由喜雄
委員：タナカ・キン 宮路敏裕 柳川隆 白井文雄 山本知克 山崎光男

今号の表紙

2020年東京五輪エンブレムに採用されたデザイン案が白紙撤回された。代わりに、無理な話ではあるが、燕市(旧吉田町)出身の亀倉雄策氏が作成した1964年の東京五輪のシンボルマークを推す声もあった。50年経っても本物は色あせないものである。

今年は生誕100年にあたる。今号の表紙は、亀倉氏の五輪ポスターの中から有名な100m走のスタートの瞬間を参考にしました。敬意を込めて(これは盗作にならないので安心して下さい)。